

# ふたば通信

2018. 9. 3



芦屋大学附属幼稚園 園長 安藝雅美

今年の夏は、本当に猛暑でした。皆様はどんな夏休みを過ごされていらっしゃいましたでしょうか。新聞でもプールや海がお休みになり暑すぎて人が少なかったと書いてありました。そう言えば、園庭の蝉の声もいつもより少なく、バッタも数匹でした。それでも、幼稚園では飼っていた、鈴虫やカブトムシが毎日子ども達と遊んでくれました。預かり保育に早く来たお子様が「せんせ～カブトムシにえさあげる～」 「うわ～もうごはんなくなってるね」と、毎日えさをあげたり、鈴虫の「リーンリーン」を聞きたくて、しずかに「しー！」と言って待っていたり…カブトムシの絵を描いたり、楽しんでいました。先生たちは、研修を受けたり、植物が枯れないよう朝夕と水やり（これは副園長の河村先生もお盆の時にも毎日欠かさず手伝って下さいました。）保育室の整理や2学期の行事を一から色々と考えたり、沢山の会議をしました。いつも、お子様達の顔を浮かべながら、どうすれば楽しく素敵な行事になるのかな…と。

さあ、今日からお休みが明けて2学期が始まりました。元気なお子様達に出会えることを教職員一同とても楽しみにしておりました。皆様から、どんな夏の思い出が聞かれるのかこの文面を書きながらわくわくしております。それでも、久しぶりの幼稚園にまだリズムが戻っていなかったり少し緊張しているお子様もいらっしゃるでしょう。特に年少さんは久しぶりの園生活に不安や戸惑いもあるかもしれませんが、どうぞ、焦らず保護者様と一緒に見守って参りたいと思います。1学期を頑張ったお子様達ですから、きっとリズムを取り戻してくるとお友達と過ごす楽しさにまたにこにこ笑顔で登園できるようになるでしょう。不安なことがございましたら、遠慮なくいつでもお声をかけてください。

2学期は、行事も多くございます。しかし、そのどれもがお子様達の興味関心を引きつけ、一つ一つの経験を通して、楽しかった！自分も出来た！という達成感が自信へと繋がります。私は、お子様達の「初めて…」に取り組む時のあの真剣なまなざしと自分で試みた後の得意げなお顔を見ること、そして、その時にお互い目が合い、「へへ！」「うん！」と共有できた時のゾクゾク感が何よりも嬉しく、この仕事の醍醐味でございます。共感し合った時に大げさな褒め言葉は全く必要ないのです。そして、失敗した時も同じです。「悔しいな・・・」「なんでだろう？」「今度はこうしてみよう！」と、失敗と成功の繰り返しですが、お子様の心をたくましく、自信を付けていくことにつながります。

残暑も大変厳しいと予想されます。体調に十分お気をつけて、夏の疲れが出ないように、ゆっくりと生活習慣を取り戻して参りましょう。私ども教員も夏に学んだことを保育に生かして参りたいと思います。

今月は、芦屋短大の学生が4名参ります。

青組2名、白組2名です。

子ども達もいつもの先生とは違う刺激を受けるようです。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。